

講座番号

10

## ファッションの視点からSDGsを考える ～循環型社会を目指して～

**概要** 低価格で流行を取り入れたファストファッションは、衣服としての寿命が短く、「消耗品」として廃棄され、ごみ問題の一因となっています。また、衣服は「汚れたら洗濯」しますが、洗剤や柔軟剤の使いすぎは水環境の汚染につながります。ファッションの視点から環境問題を取り上げ、SDGsとの関わりを考えます。

**テーマ** ●ファストファッションの背景 ●繊維製品とリサイクル ●洗濯と水環境

**日時** 11月2日 | 土曜日(全1回) | 13:25～14:55(90分) | 予備日:11月9日(土)

**受講料** 一般:2,000円 | 在学生:1,000円 | **教材費** なし | **定員** 20名 | **持ち物** 筆記用具

**講師** **木村 美智子** 東京家政大学家政学部特任教授(服飾美術学科)

日常生活に由来する環境問題を研究することは、私のライフワークです。大学では、染色品の堅ろう性に関する授業を担当しており、繊維製品の特性や手入れに関する教材も開発しています。

